

Doc. No.: NR071025

2007年10月25日

## CO<sub>2</sub>総排出量を30%削減する海上輸送システムが 「ロジスティクス大賞 環境賞」を受賞 ～産業機器の物流分野で京都初～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区／社長：橋本 正博)は、物流における温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出量のさらなる削減を目的として、フェリーを利用した九州方面への物流ネットワークによる半導体製造装置、液晶製造装置の海上モーダルシフト<sup>※1</sup>を2007年4月から実施。当社が100%出資するグループ会社、株式会社トランザップ ジャパン(本社：京都市下京区／社長：大野木 繁男)を通して運用しており、このたび同社が、社団法人日本ロジスティクスシステム協会の2007年度「ロジスティクス大賞<sup>※2</sup> 環境賞」を受賞しました。

当社グループでは、2002年11月から国内の幹線輸送を鉄道に一部転換するなど、CO<sub>2</sub>削減をはじめとする環境に優しい物流に取り組み、これらをさらに強化・拡大するため、大阪南港と新門司港を結ぶフェリーを利用した海上輸送体制を構築。半導体製造装置および液晶製造装置の幹線輸送の一部として活用しています。メーカー、物流業、海運業が三位一体となったこの輸送システムにより、国内輸送における物流関連のCO<sub>2</sub>排出量を年間約320トン削減すると同時に、コストダウンも実現します。

今回、当社グループのこの取り組みが、物流業界で日本最大の組織である社団法人日本ロジスティクスシステム協会の2007年度「ロジスティクス大賞 環境賞」を受賞。創造性、成果度、経営革新度、技術革新度、社会性、努力度の審査を経て、CO<sub>2</sub>排出量の大幅削減と物流コストの削減を同時に可能とした点が評価され、産業機器に関する物流分野として京都初の受賞となりました。

当社は今後も、物流品質の向上、環境負荷の低減、コストダウンを一層進めるため、コンテナ船や航空機からフェリーへの転換など国際一貫輸送の早期実現を目指し、モーダルシフトのさらなる展開を図ります。そして、物流におけるCO<sub>2</sub>の排出量を大幅に削減し、地球温暖化防止へのさらなる貢献を図るとともに、グループとして掲げる環境中期計画「エコ・バリュー 21」に基づき、京都議定書発効の地を拠点とする企業にふさわしい「環境経営」を推進していきます。

### ※1 モーダルシフト

従来のトラックによる幹線貨物輸送を、地球に優しく一括大量輸送が可能な海運や鉄道に転換すること。国土交通省では、特に長距離雑貨輸送において、海運・鉄道の比率を2010年に約50%に向上させることを目標としている。

### ※2 ロジスティクス大賞

社団法人日本ロジスティクスシステム協会主催。ロジスティクスの社会的浸透と、ロジスティクス部門関係者の意識高揚を図ることを目的に創設され、ロジスティクスの推進に向けて優れた実績を挙げた企業を表彰している。今年で第24回を迎える。

\* CO<sub>2</sub>排出量は、年間出荷データを基に、重量・距離・輸送手段を考慮して算出しています。各輸送手段のCO<sub>2</sub>排出量は、国土交通省から示されたデータを使用しています。

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目

## <大日本スクリーン製造株式会社の概要>

所在地：京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目

設立：1943年10月11日

代表者：代表取締役社長 橋本 正博

資本金：540億円

連結従業員数：4,798人

主要製品：【電子工業用機器】

半導体製造装置、フラットパネルディスプレイ（FPD）製造装置、プリント配線板製造装置、ウエハー・液晶・プリント配線板用検査／測定機器

【画像情報処理機器】

プレートレコーダー、フィルムレコーダー、画像処理システム、カラーキャナー、デジタル印刷機、デジタルカラー校正機、デジタルフォント、通信ネットワークサービス

URL：www.screen.co.jp

## <株式会社トランザップ ジャパンの概要>

所在地：京都市下京区中堂寺坊城町12-2 大日本スクリーン五条ビル

設立：2002年2月22日

代表者：代表取締役社長 大野木 繁男

資本金：1,000万円

従業員数：39人

主な業務：保管、荷役、輸送、包装、情報管理など、大日本スクリーングループの総合物流業務